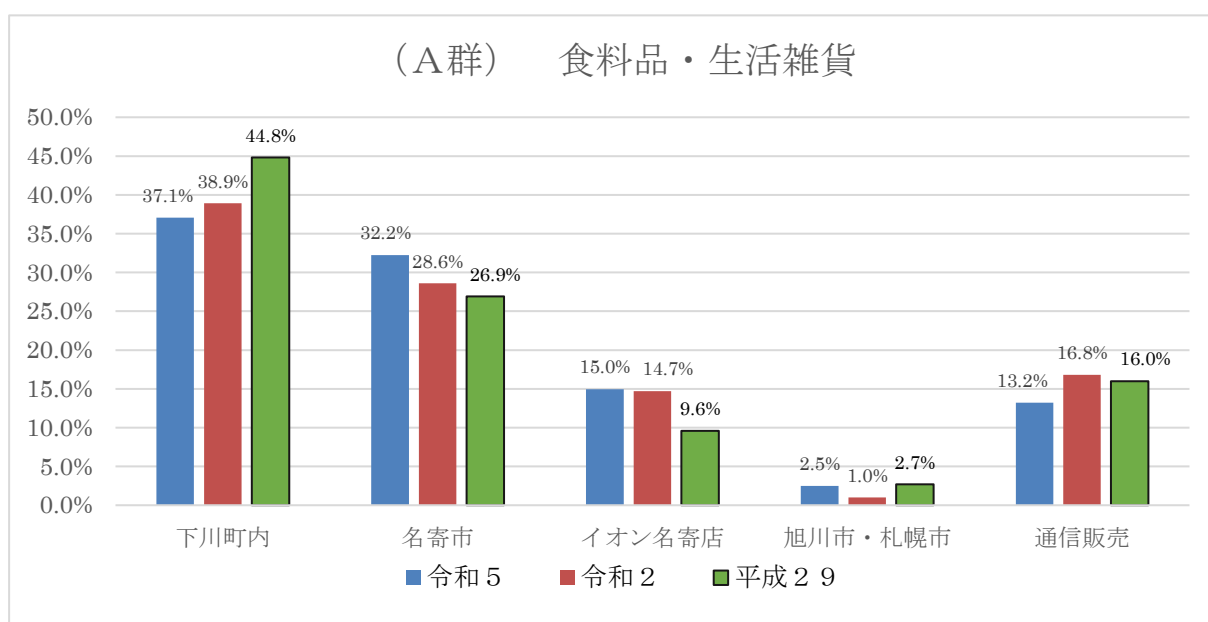


下川町

【A群】 下川町内消費が1.8%の微減、名寄市・イオン名寄店で3.9%増加

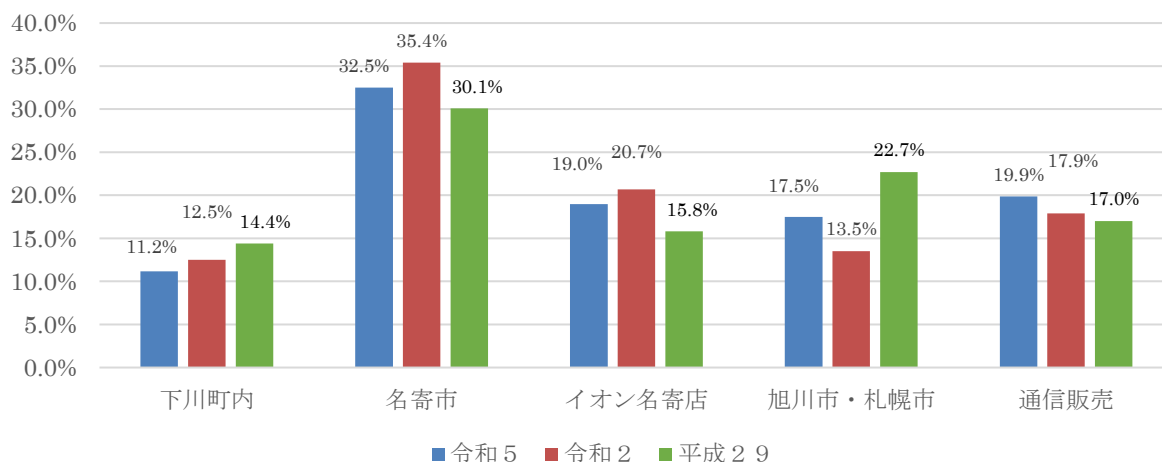
下川町内購買の数値が37.1%と前回（令和2年度）に比べて1.8%の微減となり一方で、名寄市とイオン名寄店への流出は47.2%と前回（令和2年度）に比べて3.9%の増加となり消費の町外流出が今後も続くが、前回（令和2年度）と比べると、下川町内購買の数値が差引4.1%の減少改善並びに、名寄市・イオン名寄店の数値が差引2.9%の増加改善となったのは、毎年発行されているプレミアム商品券販売による普及により、一定程度の効果が表れていると考えられる。



【B群】 下川町内消費が1.3%の微減、旭川市・札幌市での消費が4%の増加

下川町内購買の数値が11.2%と前回（令和2年度）と比べて1.3%の微減となり一方で、旭川市・札幌市での流出は17.5%と前回（令和2年度）と比べて4%の増加となり消費の町外流出は今後も続くが、前回（令和2年度）と比べると、名寄市とイオン名寄店での数値が51.5%と4.6%の減少となり、その減少分と同等の割合で旭川市・札幌市への流出が増加したのは、専門店が揃っている他市町村に依存しているのと合わせて、新型コロナウイルス感染症が令和5年度に第5類へと引き下げられ人流が活発になったことが考えられる。

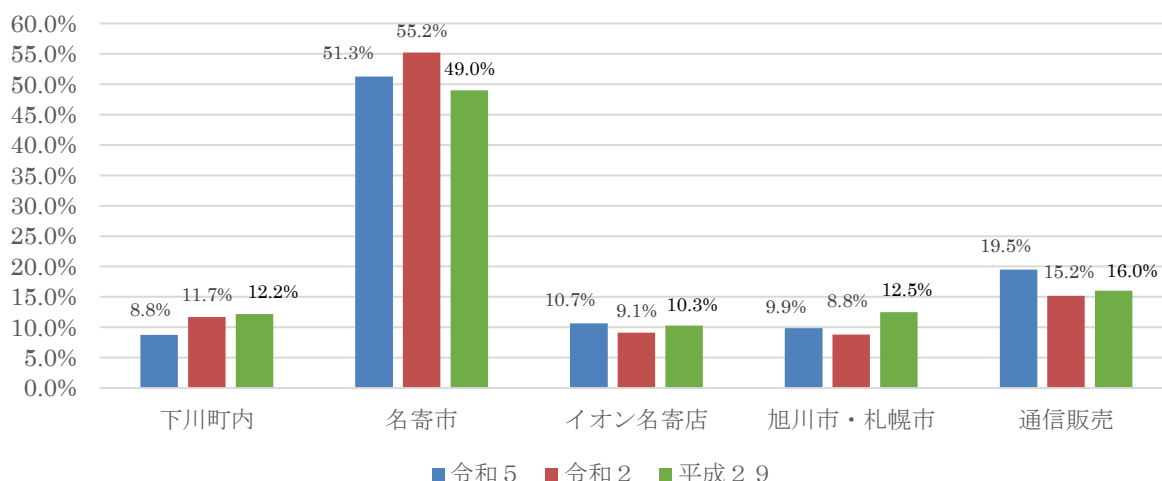
(B群) 衣類関係・寝具・靴・カバン



【C群】下川町内及び名寄市での消費減少、通信販売での消費増加

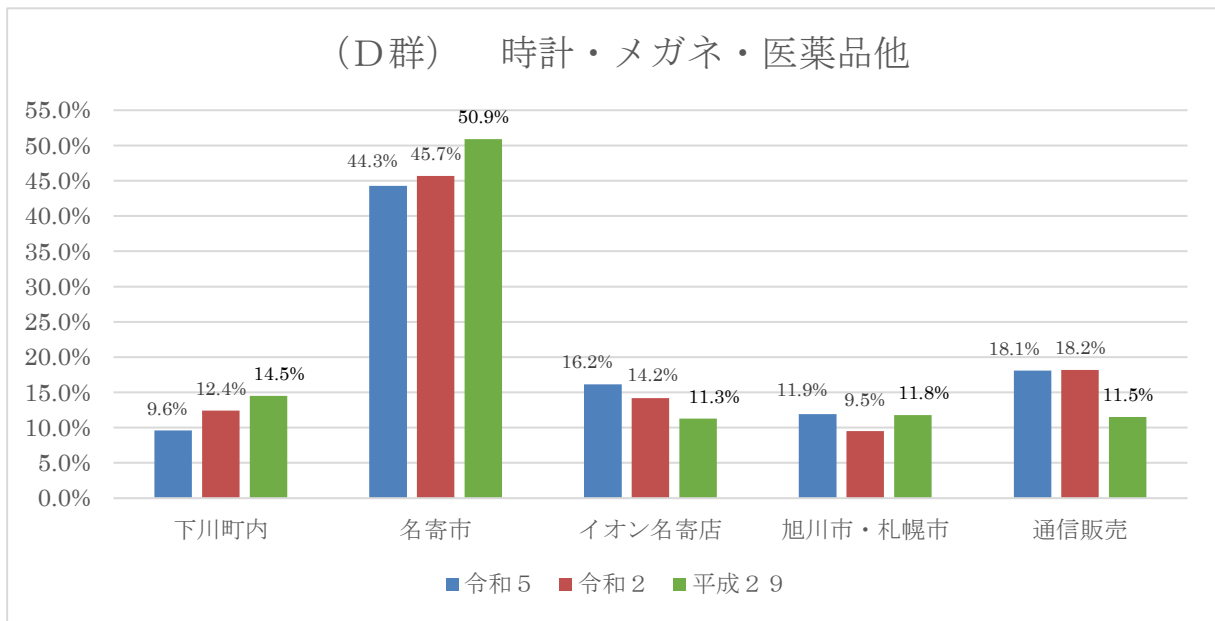
下川町内及び名寄市の購買の数値を合わせると前回（令和2年度）と比べて、6.8%と減少率が高くなったが、通信販売購買の数値は前回（令和2年度）と比べると4.3%と増加率となり消費の町外流出は今後も続くが、家具においては下川町内に専門店が無いのと、比較的利便性が高く安価にて購入できるのも重なったことが考えられる。

(C群) 家具・家電



【D群】 名寄市他を含め90%が町外流出、旭川市・札幌市が2.4%の増加

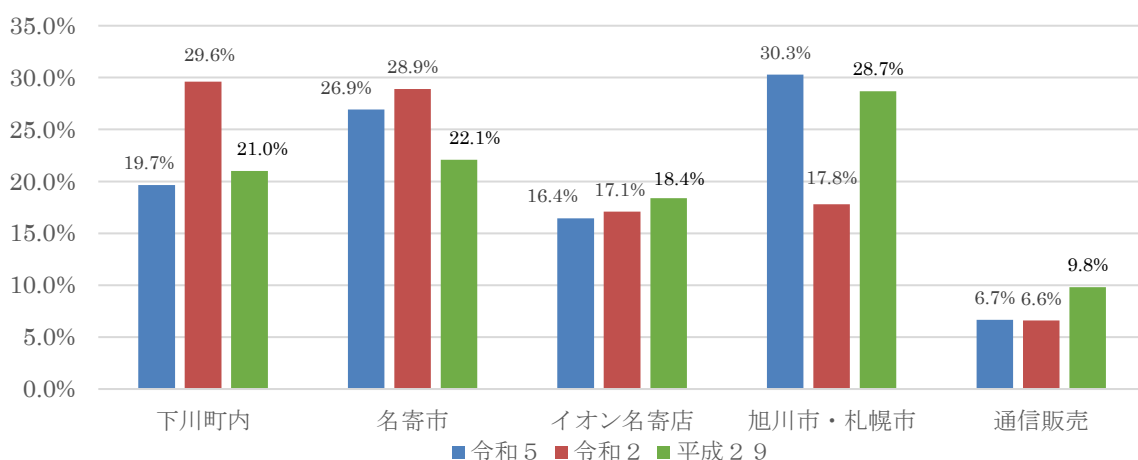
下川町内購買が前回（令和2年度）と比べて更に2.8%減少となったが、旭川市・札幌市が前回（令和2年度）と比べて2.4%の増加に転じており消費の町外流出は今後も続くが、B群と同様に専門店が揃っている他市町村に依存しているのと合わせて、新型コロナウイルス感染症が令和5年度に第5類へと引き下げられ人流が活発になったことが考えられる。



【E群】 下川町内及び名寄市内等での消費が大幅減少、旭川市・札幌市が大幅増加

下川町内及び名寄市等での購買が合わせて前回（令和2年度）と比べて、12.6%の大幅減少となったが、旭川市・札幌市が前回（令和2年度）と比べて12.5%の大幅増加に転じており更なる消費の町外流出は今後も続くが、B群並びにD群と同様に新型コロナウイルス感染症が令和5年度に第5類へと引き下げられ人流が活発になったことが考えられる。

(E群) 家族等で買物や飲食を楽しむ・流行を知る場合



※総括

調査は3年に1度となっており、今回は新型コロナウイルス感染症が第5類へと引き下げられた年と重なり、新型コロナウイルス感染症の収束と言われ人流が活発となった生活様式が本調査において、現段階で少しずつではあるが把握できた状態での調査であった。

今回の傾向としては、下川町内及び名寄市等での消費が減少傾向で、旭川市・札幌市を含む他市町村での消費が前回調査に比べて回復していると考えられる。

町内には、不足する業種が多々あり、前回調査時と比べて店舗も年々減少しているため、消費の町外依存度が今後とも高くなると推測されるため、不足業種の補填と新規開業並びに事業承継の活発化が進む環境整備が必要と思われれます。

(職業一覧)				
	お勤め	商工サービス 自営業	農林水産業	その他
人数	71	8	12	61
比率	46.7%	5.3%	7.9%	40.1%

(年代一覧)							
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
人数	1	12	27	22	30	47	13
比率	0.7%	7.9%	17.8%	14.5%	19.7%	30.9%	8.6%

※アンケート調査用紙送付及び回収枚数・回収率

- ・アンケート送付枚数 200枚 (プレミアム商品券販売購入申込書より抽出)
- ・アンケート回収枚数 152枚
- ・回収率 76%